

保育所・小学校等訪問支援評価 結果公表

事業所名 NPO法人コミュニケーション・アシスト・ネットワーク
ことばの相談室ひなたぼっこ

HP公表日 2024年12月28日

時期：	2024年10月1日～11月25日	職員討議	2024年11月30日
対象：	上記の時期に訪問支援事業の利用があった3施設A,B,C なお、訪問支援員はx,yの2名だった。 注) xがA施設の1名を、yがB施設の1名とC施設の2名を訪問した。 BとC施設に対してはy以外の職員が時々、多職種連携として同行訪問した。		
方法：	保育所・小学校等訪問支援事業を受け入れている訪問先施設の方に、評価表を手渡し、協力を依頼した。郵送で返送してもらった。		
集計：	評価は8項目について4段階で評価してもらった。それを点数化（3、2、1、0点）し集計した。合計点は3点×8項目＝24点が最高になる。最低は0点になる。Excelのピボットテーブルを使って分析した。 また、各項目ごとに自由記述欄を設けた。その記述を結果にまとめた。		

回収結果

依頼数	3施設
回答数	3施設
回答率	100%

評価

2024年前半は訪問支援をしていたのが、3施設（利用児4名）だったので、全施設から回答してもらえた。統計処理するほどのデータではないが、今後の経年変化を検討するために、一応ピボットテーブルに入れてみた。

		設問	ご意見
満足度	1	子どもは、ひなたぼっこから訪問支援員が来ることを楽しみにしていますか？	
	2	貴園・貴校の担当職員は、ひなたぼっこからの訪問支援の内容に満足していますか？	
説明・技術・頻度	3	訪問支援を開始する時の制度や計画の説明は、よくわかるものでしたか。	<p>・ひなたぼっこでの活動がよくわかり、それを園でも取り入れて、共通の支援ができたことは良かったと思います。園での手立ての参考にさせていただいたこともありました。</p> <p>・特に入学当初は(教師側が) いろいろと気になる事や不安になることが多かったので、入学前の様子等を聞いたりひなたぼっこでの活動を聞いたりできてとても良かった。学校での活動にいかせた。</p> <p>・様々な手作りの道具を用いて活動されるので、学校でも参考にしています。</p>
	4	訪問支援員の知識・技術・教材等は、わかりやすく、取り入れやすいものですか。	
	5	訪問支援員は質問に対して、適切に回答してくれていますか。	
	6	訪問支援の頻度や回数は、適切なものでしたか。	
今後	7	訪問支援を利用して、貴園・貴校における課題や不安感が解消・軽減されましたか。	<p>・連携はとても大切だと思うので、また機会があればお願いしたいです。</p>
	8	引き続き（or将来また機会があれば）、訪問支援を受け入れたいと思いますか	

各項目ごとの結果

整理番号	自	①子供	②職員	③説明	④知	⑤質問	⑥頻度	⑦不安	⑧将来	合計	列1
	発	楽しみ	満足		識・技	に解答	回数	感解消	受け入		
放	デ				術・教				れるか		
号	デ				材						
1	児発	2	3	3	3	3	3	3	3	23	
2	放デ	3	3	2	3	3	3	3	3	23	
3	放デ	2	2	3	3	3	3	2	3	21	
計		7	8	8	9	9	9	8	9		

評価

設問「訪問支援員の知識・技術・教材等は、わかりやすく、取り入れやすいものですか。」「訪問支援員は質問に対して、適切に回答してくれていますか。」「訪問支援の頻度や回数は、適切なものでしたか。」には3施設とも満点3点だった。

設問「子どもは、ひなたぼっこから訪問支援員が来ることを楽しみにしていますか？」には、2つの施設が2点だった。

○ 分析結果

事業所の強みだと思われること 工夫していること意識的に行っている取組		さらに充実を図るための取組等
1	具体的な支援技法を、教材を実際にやって見せながら説明し、納得してもらう。	現在の方法を継続する
2	小学校入学時には各自のサポート情報を、保護者の了解を得て教委・各小学校の提供している。	
事業所の弱みだと思われること 事業所として考えている課題の要因等		改善に向けて必要な取組等
1	訪問支援に関する理解が広まっておらず、最初の受け入れに抵抗感がある。一度受け入れた保育士・教員には好評でも、その人たちは翌年支援担当を外れたり、他校・園に転勤したりする。全く不要だと考える保育士・教員もいる。管理職の理解も浅い。	教育委員会や校長会・園長会に向けて、具体的に繰り返し説明していく。その機会を教委には求めているが、なかなか実現しない。
2	小学校入学時には各小学校に提供したサポート情報を、読んでいない担当者がある。	サポート情報を提供した児童については、毎年1学期に小学校訪問し、授業見学・情報交換をしている。現在の方法を地道に継続する。